

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		柔道整復師学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		衛生学・公衆衛生学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎202
担 当 教 員		上田 純	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》							
衛生学・公衆衛生学を履修することで、「いかに人々の健康を保持できるか 健康を増進できるか 疾病を予防できるか 衛生を改善できるか 」を正しく理解することができる。将来の医療従事者にとって役に立つ。公衆衛生学は国家試験科目であるので、国家資格取得に寄与できる。							
《成績評価の方法と基準》							
本試験 100%							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
衛生学・公衆衛生学 6版 公益社団法人 全国柔道整復学校協会 監修 2018年 2月発行 柔道整復師国家試験過去問題							
《授業外における学習方法》							
前回の問題を確認してほしい。次回(スケジュール通り)のところを予習してほしい							
《履修に当たっての留意点》							
わからないところがあれば、遠慮なく質問してほしい							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	環境保健 環境アセスメント 環境モニタリングが理解できる		衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント	環境保健の予習	
		各コマにおける授業予定	オゾン層の破壊、地球温暖化、砂漠化、酸性雨など地球環境の破壊の現況の理解、日本では公害、公害対策はなにか、環境対策 環境モニタリング、環境アセスメント 法律規制などについて学ぶ				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	上水 下水 食中毒 食品衛生が理解できる		衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント	環境保健の問題の復習と上水・下水・食品衛生の予習	
		各コマにおける授業予定	上水、下水の水質検査、現状 上水の改善 下水道の普及 対策につて 食中毒の種類、感染型 毒素型 食中毒の現状、食中毒対策である食品衛生活動について学ぶ				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	職業病 (物理的 化学的 作業条件)が理解できる		衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント	上水・下水・食品衛生の問題の復習と職業病の予習	
		各コマにおける授業予定	物理的環境因子による健康障害 熱中症 減圧症 騒音性難聴 振動障害 放射線障害 化学的要因による障害 有機溶媒中毒 金属中毒塵肺 職業性喘息 作業態様に起因する障害 頸肩腕障害 腰痛症 VDT健康障害について学ぶ				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	産業保健が理解できる		衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント	職業病の問題の復習と産業保健の予習	
		各コマにおける授業予定	職業病について 労働災害の対策 産業保健 労働安全衛生法、作業環境管理 作業管理 健康管理 労働基準法 労働衛生 トータル・ヘルスプロモーションについて学ぶ				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	1～4回までに復習		衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント	1～4までの復習	
		各コマにおける授業予定	環境保健 上水下水 食中毒 職業病 産業保健のまとめ				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	衛生統計が理解できる	衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント	衛生統計の予習
		各コマにおける授業予定	衛生行政 出生、死亡、離婚 婚姻 死産 など人口動態統計 人口静態統計(国勢調査) 年齢別人口 人口ピラミッド 国民 生活基礎調査 患者調査 について学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	学校保健が理解できる	衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント	衛生統計の問題の復習 と学校保健の予習
		各コマにおける授業予定	学校保健対策 保健教育 保健管理 学校保健の組織と運営 学校保健組織活動 健康診断 健康相談 感染症予防 学校 感染症第一種から第三種 学校環境管理 学童期の健康状況 の統計について学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	母子保健が理解できる	衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント	学校保健の問題の復習 と母子保健の予習
		各コマにおける授業予定	母子保健指標 乳児死亡 周産期死亡 幼児死亡 死産 妊産 婦死亡 母性保健 母子保健対策 母子保健行政 わが国の 母子保健事業の成果と今後の動向について学ぶ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	6～8回までの復習	衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント	6～8までの復習
		各コマにおける授業予定	衛生統計、学校保健 母子保健のまとめ		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	衛生学 感染症Ⅰが理解できる	衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント	衛生学、感染症Ⅰの予習
		各コマにおける授業予定	感染症成立 感染源 感染経路 感受性宿主 主な病原体の 分類 微生物 (細菌 ウイルス 真菌 原虫 寄生虫) ウイルス 感染症(気道疾患 神経疾患 ウイルス性肝炎 発疹を起こす 疾患)について学ぶ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症Ⅱが理解できる	衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント	感染症Ⅰの問題の復習 と感染症Ⅱの予習
		各コマにおける授業予定	細菌感染症Ⅰ グラム陽性菌感染症 グラム陰性菌感染症 嫌気性菌感染症 抗酸菌感染症 腸内細菌感染症 につい て学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症Ⅲが理解できる	衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント	感染症Ⅱの問題の復習 と感染症Ⅲの予習
		各コマにおける授業予定	細菌感染症Ⅱ コレラ ジフテリア マイコプラズマ感染症 リ ケッチア感染症 クラミジア感染症 スピロヘーター感染症 原 虫感染症 真菌感染症 寄生虫感染症 について学ぶ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症Ⅳが理解できる	衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント	感染症Ⅲの問題の復習 と感染症Ⅳの予習
		各コマにおける授業予定	感染症法1類～5類感染症 対策 検疫感染症 新興感染症 指定感染症 再興感染症 特定感染症指定医療機関 予防接 種の種類 弱毒 不活化 トキソイド DPT MRワクチン につ いて学ぶ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	滅菌消毒が理解できる	衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント	感染症Ⅳの問題の復習 と滅菌消毒の予習
		各コマにおける授業予定	微生物による疾患 感染症成立条件 感染源 感染経路 感受 性宿主空気感染 接触感染 飛沫感染 消毒剤 滅菌法 エチ レンオキシドガス滅菌 高圧蒸気滅菌 乾熱滅菌 について 学ぶ		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	衛生についての知識を持ち、衛生管理ができるようになる。	衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント	衛生管理ができるように ある
		各コマにおける授業予定	まとめ		